



「耳の日」が制定されたのは、昭和29年(1954年)3月3日です。

耳鼻科学会が音頭を取り、厚生省(当時)のバックアップで制定されました。

一般の人々が耳に関心を持ち、耳の病気のことだけではなく、健康な耳を持っていることへの感謝、耳を大切にするために良い音楽を聴かせて耳を楽しませてあげるために、あるいは、耳の不自由な人々に対する社会的な関心を盛り上げるために制定されました。

また、この日は、見えない・聞こえない・話せないヘレン・ケラーにサリバン女史が指導を 始めた日であり、電話の発明者グラハム・ベルの誕生日でもあります。

■「聞こえ」を悪くする生活に注意しよう

耳の病気がなくても、大きな音を長時間、聞き続けることや、疲労や過度のストレスにより聴力がダウンする場合があります。正常な「聞こえ」を保つには、次の点に注意しましょう。



日本耳鼻咽喉科学会より

最近の自分を振り返ってみましょう。

1・2年生は、試験が終わり、ストレス度が下がった人が多いかも?3年生は、入試や卒業に向けて緊張感が続いている人もいるのではないかと思います。たまにはゆっくり休んでリラックスしましょう。

